

ドローン操縦を体験

東京中小投資育成 投資先向けに視察会

東京中小企業投資育成「専」をDPA潮見ドローン成は飛行ロボット(ドローン)飛行場(東京都江)の視察会(写真:東区)で開いた。投資



先企業22社から24人が参加し、屋内専用飛行場でインストラクターの指導を受けながらドローン実機の操縦を体験した。ドローン操縦士協会(DPA、東京都渋谷区、小林一郎理事長、03・6450・6402)の前田貴俊理事(長補佐は「ドローンの産業応用の現状と中堅・中小企業におけるドローン活用の可能性」について講演した。2020年のドローン経済規模は世界で204兆円、日本では91兆円が見込まれ、用途は公共インフラ、農業、輸送、セキュリティな

ど活用分野は幅広いと説明。ただ、ドローンの操縦士の育成が課題で、20年には国内で14万人以上の操縦士が必要になると説明した。